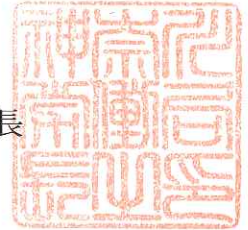


神勞発基1002第3号
平成29年10月4日

公益社団法人
神奈川労働安全衛生協会 殿

神奈川労働局長



職場における死亡災害撲滅に向けた緊急要請について

労働災害の防止につきましては、平素より格別のご協力を賜り深く感謝申し上げます。

全国における労働災害による休業4日以上之死傷者数は、昨年は前年より増加し、平成29年も減少傾向がみられず、また、死亡者数は、平成29年は対前年比で9.6%（8月末現在速報値）の増加となっており、厚生労働省労働基準局安全衛生部長より別添要請が行われたところです。

神奈川労働局下においても、労働災害による休業4日以上之死傷者数は、全国同様に平成29年も減少傾向がみられません。死亡者数については増減を繰り返すも減少傾向にあり、昨年は過去最少となったものの、平成29年9月末現在においては24人（速報値）を数え、対前年比で26.3%（5人）の増加となっております。また、月毎の死亡者数をみても毎月複数人が被災し、直近3月の間（7月から9月）で労働者9人が死亡していることから、極めて憂慮すべき事態であり、死亡災害撲滅に向けた労使双方の共通意識を更に高める必要があります。

つきましては、上記厚生労働省労働基準局安全衛生部長の要請に加え、死亡災害事例等（神奈川労働局管内）を添付しますので活用していただき、貴団体としての取組の強化及び傘下の会員事業場に対する周知、又は関係者への広報等として事業場内に要請文・関係資料の掲示等していただくなど特段のご配慮をお願いいたします。

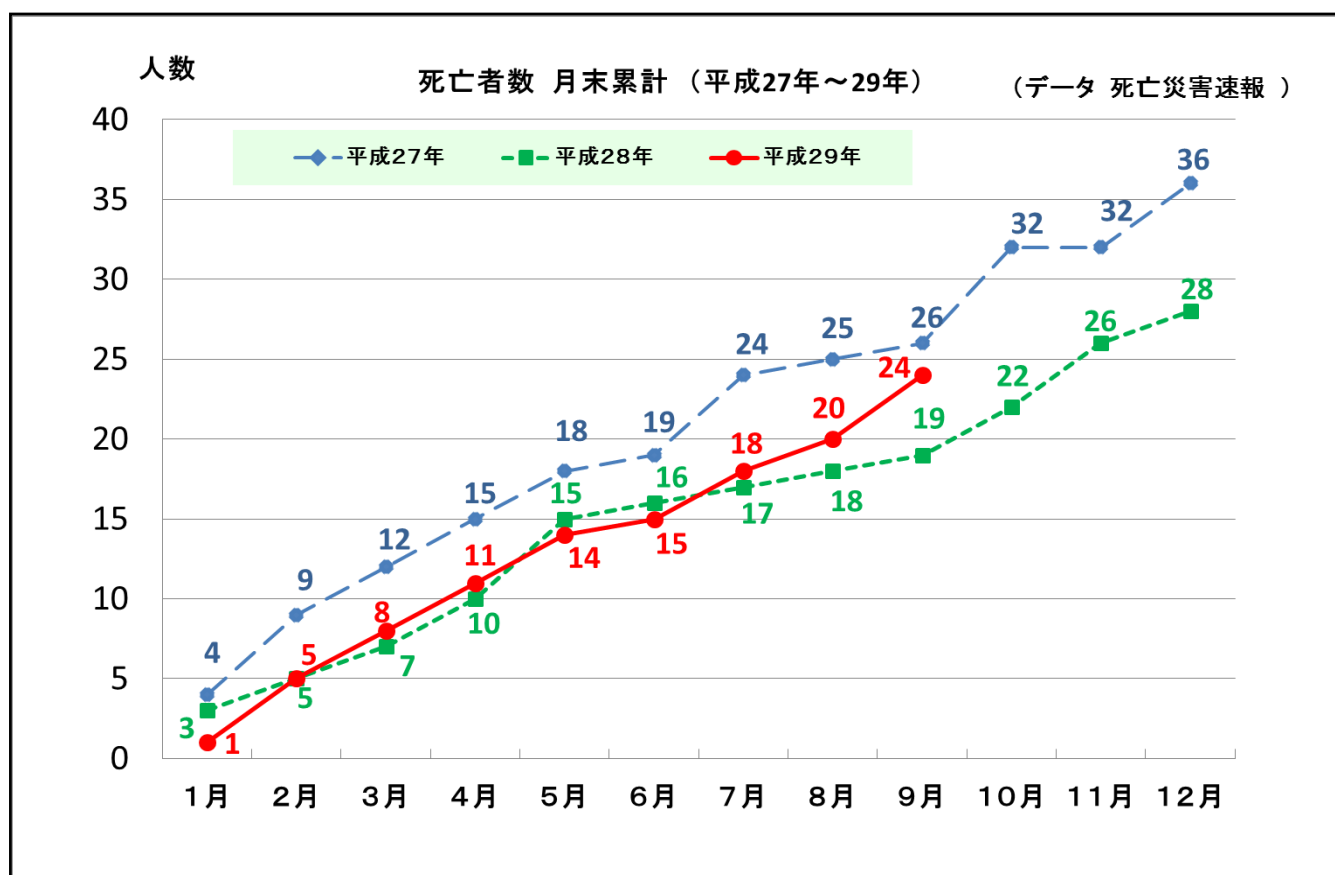
職場における死亡災害撲滅に向けた緊急要請の概要

～死亡者24名（本年9月末現在）、対前年比で26.3%・5人の増加～

神奈川県労働局

神奈川県労働局管内の死亡災害発生状況

- ・平成29年9月末現在 死亡者数24人（速報値）、前年同期と比べ5人の増加
- ・直近3月の間（7月から9月）で労働者9人が死亡



*平成27年及び28年は当該月に発生した死亡者数確定値

*平成29年は死亡災害速報による当該月に発生した死亡者数速報値

《参考》

○災害発生状況などの情報は神奈川県労働局ホームページ（kanagawa-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp）に掲載しています。



誰もが安心して健康に働くことができる
社会を実現するために

『第12次労働災害防止推進計画』実施中！
労働基準監督署・神奈川県労働局

要 請 事 項

☆ 重要な共通取組内容

労使をはじめ、関係者が一体となって次の取組を徹底し、労働災害防止に努めること。

- 1 安全作業マニュアルの遵守状況を確認するなど、職場内の安全衛生活動の総点検を実施すること
- 2 安全管理者、安全衛生推進者、安全推進者等を選任し、その職務を確実に遂行させるなど、事業場の安全管理体制を充実すること
- 3 雇入れ時教育等を徹底するなど、効果的な安全衛生教育を実施すること

☆ 死亡災害が増加している業種での取組ポイント

建設業

- 建設機械などによる「はさまれ・巻き込まれ」
⇒労働者の立入り制限や誘導員の配置など、車両系建設機械などとの接触防止対策の実施
- 屋根や足場などからの「墜落・転落」
⇒高所作業における作業床の設置、安全帯の着実な使用などの墜落・転落防止対策の実施
- 「交通事故（道路）」
⇒「交通労働災害防止のためのガイドライン」に基づく対策の実施

陸上貨物運送事業

- 荷役作業時などの「墜落・転落」
⇒荷役5大災害防止対策チェックリストを活用した荷役作業での安全対策の実施
- 「交通事故（道路）」
⇒「交通労働災害防止のためのガイドライン」に基づく対策の実施

林業

- 伐木などによる「激突され」
⇒「チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン」に基づく対策の実施

製造業

- 機械などによる「はさまれ・巻き込まれ」
⇒リスクアセスメントや機能安全による機械設備の安全対策の実施
⇒ 高経年設備に対する優先順位を付けた点検・補修などの実施

平成29年死亡災害の概要

(神奈川県労働局管内、平成29年9月30日現在、発生月順)

番号	発生月	業種	起因物	発生概要
	発生時刻	事業場規模	事故の型	
1	1月	小売業	起因物なし	早朝の出勤途中、駅前バスロータリーのベンチ付近で被災者が倒れているところを歩行者に発見された。長時間労働による過重業務として労災認定されたもの。
	5時頃	30名～49名	その他	
2	2月	土木工事業	整地・運搬・積み込み用機械	掘削用機械を4tトラックの荷台に乗せようとした際に、掘削用機械が倒れてアームの下敷きになったもの。道板は使用していなかった。
	17時頃	1名～9名	激突され	
3	2月	化学工業	分類不能	始業前の早朝に工場建屋から出火し、焼け跡から被災者の遺体が発見されたもの。
	6時頃	1名～9名	分類不能	
4	2月	広告・あっせん業	乗用車、バス、バイク	配送業務終了後に事業場に戻る途中、国道1号線を走行中、被災者が運転する車が反対車線に飛び出して大型貨物車と衝突したものの。
	16時頃	10名～29名	交通事故(道路)	
5	2月	清掃・と畜業	階段、棧橋	ビルの内部階段でモップを用いての清掃作業中に転倒し踊り場に転落したものの。
	6時頃	1名～9名	墜落、転落	
6	3月	食料品製造業	食品加工用機械	食料品加工工場内で製品の具材を攪拌機で攪拌する作業中、攪拌機の回転している羽に身体が巻き込まれて死亡したものの。
	10時頃	100名～299名	はさまれ、巻き込まれ	
7	3月	土木工事業	玉掛用具	桁製作ヤード内において、橋型クレーンを使用して鋼製型枠(総重量1.8t)を2本のナイロンスリングで玉掛けし吊り上げて移動中、1本のスリングが切断して荷が傾斜しながら落下、もう1本のスリングも切断した。このため鋼製型枠が落下、下にあった発電機に当たって跳ね返り、そばにいたクレーン操作者に激突したものの。
	16時頃	10名～29名	激突され	
8	3月	陸上貨物運送事業	はしご等	客先にて、トラックに載せた積荷にシートをかける作業を行っていた際、脚立の上に乗って作業していたところ、脚立から墜落したものの。
	16時頃	10名～29名	墜落、転落	
9	4月	陸上貨物運送事業	フォークリフト	コンテナ内において、被災者が1番奥に積込まれた荷の固定状況カメラで撮影していたところ、荷を載せたフォークリフトの運転手がそれに気づかずコンテナ内に進入したため、激突された後、1番奥の荷とフォークリフトで運ばれた荷の間に挟まれたままとしたもの。
	16時頃	10名～29名	激突され	
10	4月	陸上貨物運送事業	トラック	トラックで取引先の印刷工場から翌日の朝刊を配送するため、国道を走行していたところ、交差点を直進で進入中に反対車線から右折してきた乗用車に衝突され、トラックが横転した。搬送先病院で死亡が確認された。
	23時頃	30名～49名	交通事故(道路)	
11	4月	その他の鉄鋼業	玉掛け用具	クレーンを使用して鉄板の束の積み替え作業中、玉掛け用具(ハッカー)の一部が近接した荷の山(鉄板の束を重ねたもの)の上部に接触し、ハッカーが鉄板の束から外れた。ついていた鉄板の束が崩れたことによりクレーンを操作していた被災者が後方にあった別の荷の山との間に挟まれたもの。
	10時頃	30名～49名	はさまれ、巻き込まれ	
12	5月	その他の商業	玉掛け用具	自社敷地内において移動式クレーンを使用して敷鉄板の移動を行っていた。敷鉄板の片側を接地した状態で引き起こし、被災者が敷鉄板に付いた土を取り除こうと敷鉄板に接近した際、敷鉄板の穴の部分にかけていた玉掛け用フックが外れ敷鉄板が被災者側に倒れてきたもの。
	10時頃	50名～99名	はさまれ、巻き込まれ	

13	5月	その他の小売業	トラック	得意先のイベントで商品の展示販売を行い、展示品の撤収作業中、展示品を積んだトラックの荷台に被災者は乗って展示場内を移動していた。トラックが左折した際、荷台で転倒、トラックから地上面へ落下し頭部を打撲した。病院に運ばれ治療を受けたが数日後に死亡した。
	13時頃	10名～29名	墜落、転落	
14	5月	その他の医療保健業	バイク	被災者は所属事業場から他の事業場に向かうため、大型自動二輪車で道路を直進中、薬局の駐車場に入るために右折した普通自動車と接触したものの。
	21時頃	10名～29名	交通事故(道路)	
15	6月	建築工事業	人カクレーン等	免震用の仮設H鋼材(重さ約1.7トン)の取り外し作業のため、建屋に取付けた手動のチェンブロック2個を使用してつり上げたところ、片側のチェンブロックが脱落、片つりとなったつり荷のH鋼材とともに落下、直下にいた被災者に飛来したものの。
	11時頃	1名～9名	飛来、落下	
16	7月	食料品製造業	はしご等	工場内の搬入扉から冷凍マグロを受け入れる作業中、最大高さ約1.28mの台に上がり、冷凍マグロを手かぎを使って引き込んでいたところ、被災者が台の上から床面に転落し、肝臓破裂による出血により死亡したものの。
	9時頃	30名～49名	墜落、転落	
17	7月	ビルメンテナンス業	開口部	マンション内の清掃業務を行っていた被災者が、敷地内にある雨水枦の蓋を開け、枦内に自身の右腕を入れ、そのまま枦内を覗き込む形で上体を入れた後、枦内に頭から落ち込んで脱出できなくなり、雨水枦内部に溜まっていた水(水位約12cm)を吸入したことにより、溺死したものの。
	10時頃	300名～	おぼれ	
18	7月	建築工事業	屋根、はり、もや、けた、合掌	工場のスレート屋根を補修する作業を行っていた労働者が、休憩を終えて作業箇所へ移動していたところ、スレートを踏み抜いて約4メートル下のコンクリート上に墜落したものの。
	10時頃	1名～9名	墜落、転落	
19	8月	清掃・と畜業	トラック	被災者と運転手の2人で貨物自動車ですり出しの資源ごみを回収。プラント内で計量終了後、車体後方のあおりを下げて古着置場で古着を荷卸した後、ペットボトル置場に移動するため、被災者を貨物自動車の荷台に乗せて、あおりを下げたまま時速5km程度で50メートル程度移動したところ、被災者が墜落したものの。
	15時頃	10名～29名	墜落、転落	
20	8月	教育・研究業	開口部	当該事業場の屋外通路外側の区域の除草作業を行うにあたり、除草する区域における蜂の巣の有無の確認を熊手を用いて行っていた際、誤って開口部より約5メートル下の地下駐車場に墜落したものの。屋外通路と除草する区域の間には手すりが設けられていたが、手すりを乗り越えて作業する区域に立ち入る必要があったものの。
	9時頃	300名～	墜落、転落	
21	9月	清掃・と畜業	コンベア	修理業者が産業廃棄物の選別・破碎等を行う処理施設に設置されているコンベアの修理作業を行っていたが、修理作業が終わり試運転させたところ、異音が発生したため直ちに停止させて周辺を確認したところ、付近でコンベア部品の加工作業をしていた当該事業場の作業員が当該コンベアに巻き込まれていたものの。
	3時頃	50名～99名	はさまれ、巻き込まれ	
22	9月	その他の事業	エレベータ、リフト	病院内の入院患者用の食事を運搬するために設置された小荷物昇降機の不具合を確認するため、5階の荷の積卸口において戸を全開にして、搬器を50～60センチ下げた状態で頭部から胸部を昇降路内に入れていたところ、上昇してきた搬器の上部と荷の積卸口にはさまれたものの。
	12時頃	1名～9名	はさまれ、巻き込まれ	
23	9月	金属製品製造業	その他の動力運搬機	自動めっき装置ラインにおいて、製品を各めっき層に投入する搬送機械が下降してきたところに体が挟まれてしまったもの。 めっき層と搬送機械のラインは、途中でUターンしている形状で、搬送機械は、横移動→下降→上昇→横移動を繰り返している。 □
	6時頃	30名～49名	はさまれ、巻き込まれ	
24	9月	警備業	その他の装置、設備	被災者は商業店舗の警備を行っていたが、店舗の従業員が店舗の営業時間が終了後帰る際に、駐車場のシャッターが完全に閉まっていなかったため確認したところ、被災者がシャッターと乗っていたバイクに挟まれた状態となっているところを発見したものの。
	1時頃	300名～	はさまれ、巻き込まれ	

※ 死亡災害発生概要の内容は未確定のものであり、調査の進展とともに変更又は業務外と判明し削除される場合があります

